

目標達成計画

作成日: 平成29年1月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	業務の忙しさにとらわれ、介護の基本が充分でない。	食事、入浴、排泄の介護の基本を全員がもう一度マスターしていく。	ミーティング時または現場において 研修を受けたことを振り返り、注意喚起していく。食事、入浴、排泄の介護の基本を繰り返しリーダー中心にチェックしていき毎朝のミーティング時に申し合わせ介護の基本の充実をはかる。	12ヶ月
2	26,27	実際の介護の成果を記録に反映していくのが難しい。	外国籍の職員が多いため日々の記録が適切に書けるようになる。	介護の仕事をして記録に残さなければ仕事をしたことにならないことを日頃申し合わせていく。その為には特に外国籍の職員はすすんで日本語マスターに挑戦できるよう介護職員全員でサポートしていく。	12ヶ月
3	18,21,25	全員の利用者様が認知症の為利用者様間でのトラブル発生の可能性があるが即座の対応が難しい。	利用者様間の距離、コミュニケーションの調節をして穏やかな雰囲気を保てる。	認知症の理解を日常業務に活かせるよう一人一人の利用者様への対応を日頃から申し合わせていくとともに現場からの工夫や知恵を職員間で共有できるよう会議や毎朝のミーティングで確認していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。